

平成30年度 認知症地域支援推進員 活動報告書

(能勢町)

- ・認知症サポーター養成講座を実施。(平成31年2月末までに8回実施)
- ・民生委員、小学生、郵便局員、介護事業者連絡会等で実施している。



能勢小学校(ささゆい学園)4年生



介護事業者連絡会

・認知症ケアパスの活用

認知症と疑われる症状が発生したときや認知症の人を支える場合、いつ、どこで、どのような支援を受けられたいか理解できるよう「認知症ケアパス」を作成し、適切な対応が継続的に可能となるよう、支援を行う関係機関や住民に提供を行なっています。

・平成30年度配布実績

医療機関、介護保険事業所、いきいき百歳体操実施会場、各種会議・研修会場等

ケアパス ここには認知症の半数を占めるアルツハイマー型認知症の場合を中心に、本人の症状の変化や知っておきたい情報などを記載しました。症状には個人差があり、全ての方にあてはまるものではありませんが、今後の道筋として参考にしてください。

認知症の進行に応じた変化 健康 ⇒ あれ？物忘れかな ⇒ そろそろ誰かの見守りが必要 ⇒ 日常生活に手助けが必要 ⇒ 日常に手助けが必要

本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> なんとなくおかしいと感じて不安になる (例) 頭に霧がかかったような気がする、気分が落ち込む等 	<ul style="list-style-type: none"> 物忘れ 同じことをくりかえし聞く 片づけが苦手になる 物が無くなる 外出がおっくうになる 	<ul style="list-style-type: none"> 小銭で払うのが苦手になる 探し物をする時間が増える 食事の支度が一人では難しい 火の消し忘れ 金銭の管理や支払いが難しくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 薬を間違えて飲む たびたび道に迷う 季節に合った服が選べない 家電の操作が難しくなる 生活リズムが乱れる 	<ul style="list-style-type: none"> トイレの場所がわからない 道に迷って帰ってこられない 日にちや季節がわからなくなる 服の着かたがわからない 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で食事ができなくなる 言葉によるコミュニケーションが難しい 歩行が困難 起き上がるのに介助が必要
家族の気持ちと対応	<p>認知症は家族のかかり方や環境調整により、症状が大きく変化し、気持ちの変化は人それぞれです。</p> <p>勉強会等に参加すると色々な情報が得られます。</p> <p>悩みを打ち明けられないで一人で悩んでしまいがち ⇒抱え込まずに相談をすることが大事。家族の病気への理解が、今後の症状の出力に大きく影響する。</p> <p>本人の失敗が増え、介護疲れを感じる休みたいくなる ⇒介護サービス等を利用し、自分のリラックスできる時間も大事にする。</p> <p>最期の過ごし方や看取りが心配 ⇒元気なうちに本人の意向を確認する。エンディングノート等を活用する。</p>					
本人やまわりの人がやってほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> 友達や地域とのつながりを大切にしましょう 今までやってきたことをやめずに続けましょう (地域の活動・ボランティア等) 	<ul style="list-style-type: none"> まわりの人に相談してみましょう 一日の計画を立てて行動してみましょう 地域包括支援センターに相談しましょう かかりつけ医に相談しましょう 元気なうちから生前整理に取り組みましょう 外出の機会をもちましょう 本人の話をじっくり聞きましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 一人で行うのが難しいことはまわりの人に手伝ってもらいましょう 相談できる人を見つけておきましょう 今まで通り、外出したり人に会う機会を持ちましょう 将来に備えて成年後見制度等の利用について検討しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 本人の「得意」を活かし、その人らしい生活をいかにして送っていくかを考えていきましょう 介護サービスなどを利用してお互いにリラックスできる時間をもちましょう 施設での生活を希望する場合は早めにいくつかの施設を見学しておきましょう 		
介護保険	申請の相談	介護認定の取得	介護サービスの利用	家族の介護負担の軽減		
認知症の人や家族を支援する体制	予防	ボランティア・生涯学習人材バンク・シルバー人材センター 高齢者クラブ・いきいき百歳体操・地域のサロン活動・認知症カフェ				
	医療	かかりつけ医	認知症サポート医	認知症疾患医療センター		
	相談	認知症初期集中支援チーム		訪問看護・訪問薬剤師・訪問診療・訪問歯科診療		
	介護	能勢町地域包括支援センター・能勢町保健福祉センター		大阪府認知症コールセンター		
		居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)		ホームヘルプ	デイサービス	
	生活支援	民生委員・社会福祉協議会・消費者相談・警察・配食サービス・公共交通空白地有償運送・福祉有償運送		福祉用具・住宅改修	デイケア	ショートステイ
住まい	日常生活自立支援事業		成年後見制度			
	サービス付き高齢者向け住宅		介護付き有料老人ホーム	特別養護老人ホーム		

- ・平成31年2月28日(木)に若年性認知症当事者の講演会を開催している。
- ・若年性認知症の当事者や家族が住み慣れた地域でその人らしく生活が続けられるように、若年性認知症の当事者の思いを聞く事で、認知症に対する理解を深め、適切に寄り添って支援が行えるよう、講演会を開催している。



- ・認知症高齢者等SOSネットワーク模擬訓練を実施。
- ・認知症高齢者等SOSネットワークとは、認知症の方が行方不明になった場合に、地域の支援を得て早期に発見できるような関係機関等の支援体制を構築し、認知症高齢者等の生命・身の安全とその家族等への支援を図ることを目的としている。
- ・実際に認知症行方不明者が発生した場合に、スムーズに声かけを行い早期発見につながるよう模擬訓練を実施している

・模擬訓練の様子



・高齢者の集いの場である「いきいき百歳体操」のお世話役の方に対するフォローアップ教室において、認知症予防についての研修を行なう。

・フォローアップ教室の様子

